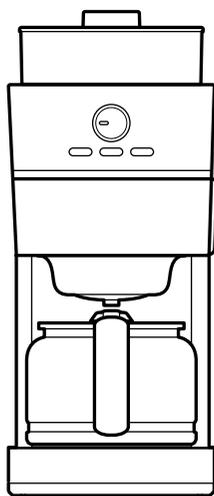


siroca

コーン式全自動コーヒーメーカー

SC-10C151



取扱説明書 **保証書つき**

このたびはシロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。
この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	6
お使いになる前の準備	8
コーヒーをいれる	10
使い終わったら	15
コーヒーの基礎知識	16
お手入れ	18
故障かなと思ったら	25
仕様	28
部品・消耗品	29
アフターサービス	30
お客様相談窓口	31
保証書	32

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。



警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子ども、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体や操作部に水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



接触禁止

蒸気が出るところや保温プレートに触ったり、手や顔を近づけない

やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

コーヒーサーバー、給水タンク、豆容器ふたなしで使用しない

やけどの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない

火災・感電・やけどの原因になります。



禁止

落としたり、衝撃を加えたりしない

感電・故障の原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。

警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。

注意

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



禁止

壁や家具の近くでは使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気の近くやIHクッキングヒーターの上では使わない

変形・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない

ショート・感電・故障の原因になります。

⚠ 注意

使用上の注意事項



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れない

高温のため、やけどの原因になります。



禁止

専用のコーヒーサーバー以外は使用しない

発火・故障・やけどの原因になります。



禁止

抽出中にコーヒーサーバーを外さない

やけどの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーをセットしたまま本体を動かさない

コーヒーサーバーが外れて、やけど・けがの原因になります。



禁止

空だきをしない

給水タンクに水が入っていない状態で通電すると、故障・火災の原因となります。



禁止

コーヒーサーバーをセットせずに使用しない

故障・やけどの原因となります。



お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの原因になります。



プラグを抜く

長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く

長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

給水タンクに水を入れた状態で長時間放置しない

腐敗や故障・変色・においの原因になります。



水は常に新しいものを使う



禁止

水以外のものを入れたり、沸かしたりしない

牛乳・紅茶・酒など水以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーを落としたり、かたいものにぶつけたりしない

ガラスが割れる原因になります。また、故障・火災の原因になります。



禁止

コーヒーサーバーが空の状態のまま保温しない

ガラスが割れる原因になります。また、故障・火災の原因になります。



2回連続して使用したあとは、保温を中止して、30分間休ませてから使用する
過度の連続使用は故障の原因になります。



禁止

コーヒーサーバーを直火にかけたり、電子レンジで使用したりしない

ガラスが割れたり、取っ手が変形したり、金属部から火花が飛び散るなどの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない

ガラスが破損して、けがの原因になります。



禁止

コーヒーサーバーが熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない

コーヒーサーバーが破損しやすくなります。
万が一割れた場合は、破片を取り除くときに手を切らないように十分に注意してください。

⚠ 注意



ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにする

本体内部にミネラル成分が付着しやすくなったり、付着したミネラル成分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因になります。



禁止

使用直後の熱い保温プレートの上に電源コードをのせない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

給水タンクに満水を目盛り(MAX10)以上の水を入れない

湯がこぼれたり、本体の底から湯が出てやけどの原因になります。



禁止

電源コードが通行や動作の妨げになるような場所で使用しない

電源コードが引っ掛かり、製品が落下して、けがや故障の原因になります。



禁止

直射日光が長時間あたる場所で使わない

故障の原因になります。



禁止

ミルにコーヒー豆以外のものは入れない

故障の原因になります。



禁止

水なしで空運転、ミルの連続運転をしない

故障の原因になります。



禁止

本体にふきんなどをかぶせない

変形や故障の原因になります。



禁止

他の電気機器に蒸気が当たる場所で使用しない

蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。



禁止

使用中に豆容器ふたやバスケットを開けない

けが・やけどの原因になります。



禁止

コーヒー抽出直後にメッシュフィルターまたはペーパーフィルターを直接触らない

やけどの原因になります。



禁止

使用中に給水タンクを外さない



禁止

屋外で使用しない

故障の原因になります。



禁止

テーブルなどからはみ出した状態で使用しない

けが・やけどの原因になります。



禁止

使用中や使用後しばらくはバスケットの下に手を入れない

しずくが垂れて、やけどの原因になります。



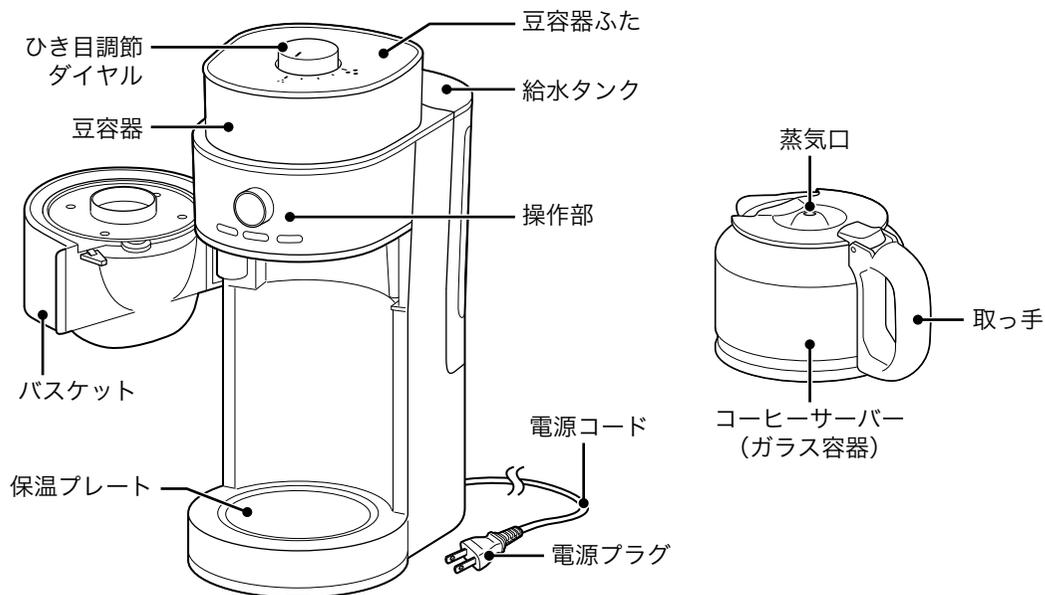
禁止

カーペット・布製のテーブルクロスの上では使用しない

コーヒーが飛び散り、カーペットやテーブルクロスを汚す原因になります。

各部のなまえ

本体



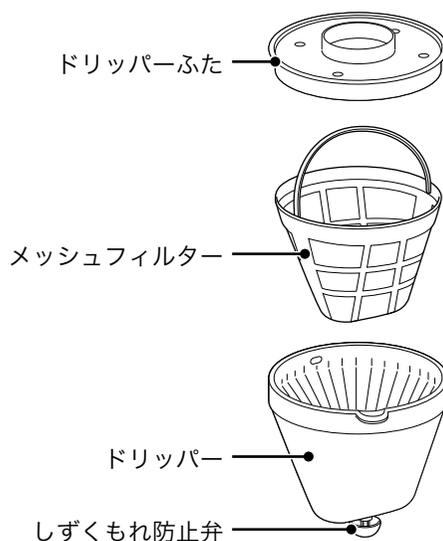
豆容器内部について

本製品は、コーヒー豆を使った検査をして性能を確認し、全品清掃をして出荷しています。コーヒー粉が豆容器内部に付着していたり、コーヒーのおいが残っていたりすることがございますが、人体への影響はありませんので安心してお使いください。

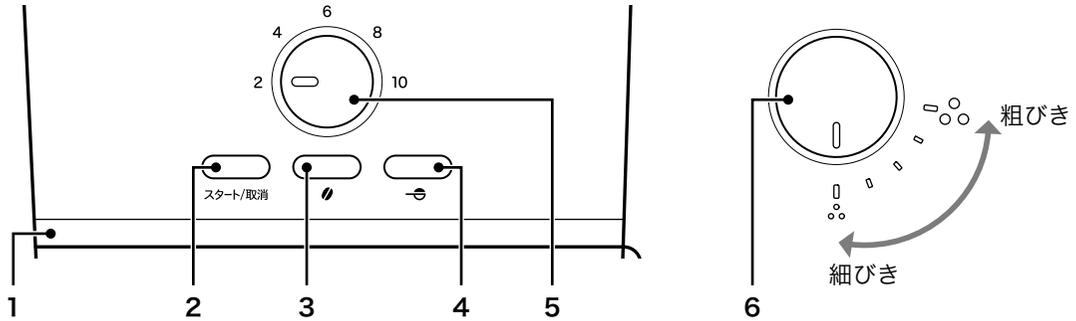
▶ バスケット内部

メッシュフィルターまたはペーパーフィルターを取り付けて使います。

ドリッパーには、しずくもれ防止弁がついているため、コーヒーがバスケットからもれ出ないしくみになっています。



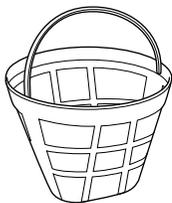
操作部・ひき目調節ダイヤル



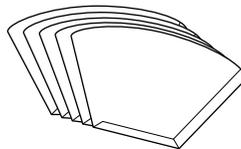
名称	説明
1 LEDランプ	コーヒーの抽出・保温中に、LEDランプが点灯します。 コーヒーの抽出・保温を中止した場合は消灯します。
2 「スタート/取消」ボタン	抽出を開始する、中止するとき、保温を中止するときを押します。 コーヒーの抽出・保温中に、ボタンが点灯します。 コーヒーの抽出・保温を中止した場合は消灯します。
3 ●(豆)ボタン	豆をひいてからコーヒーを抽出するときを押します。 押すたびに点灯(選択)、消灯(解除)が切り替わります。 選択していてもコーヒーの保温中は消灯します。
4 ☉(粉)ボタン	粉からコーヒーを抽出するときを押します。 押すたびに点灯(選択)、消灯(解除)が切り替わります。 選択していてもコーヒーの保温中は消灯します。
5 カップ数ダイヤル	コーヒーのカップ数を設定します。
6 ひき目調節ダイヤル	豆をひく際のひき目を設定します。

付属品

▶ メッシュフィルター



▶ ペーパーフィルター (5枚)



▶ 計量スプーン



4～7杯用
市販品をご購入の際は、「4～7杯用」のペーパーフィルターをお選びください。
サイズ：(1×4)または(103)

コーヒーの粉専用
(粉すりきり1杯が約6g、内側の線までが約3g)

| お使いになる前の準備

本体の内部を洗浄する

本製品をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合は、本体の内部にほこりやごみなどが付着していたり、水が残っていたりする可能性があります。以下の手順で本体の内部を洗浄してからお使いください。

- 各部の取り付け・取り外しについて
→「お手入れ」18ページ

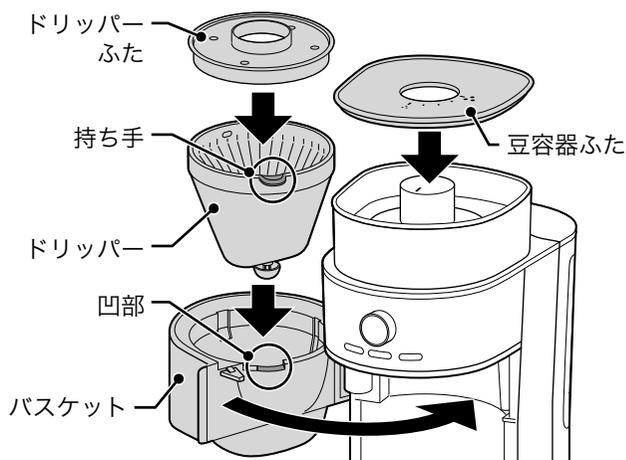
ご注意

- 本体の内部を洗浄するときは、コーヒー豆・コーヒー粉を入れないでください。

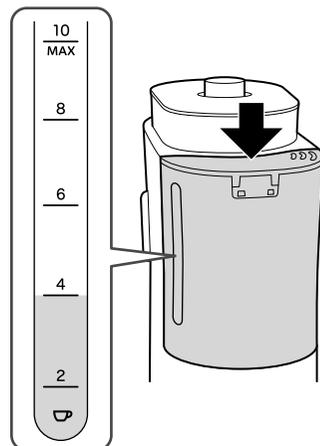
- 1 豆容器ふた、ドリッパーふた、ドリッパー、給水タンク、コーヒーサーバーを本体から取り外して洗う

- 2 豆容器ふた、ドリッパー、ドリッパーふたを本体に取り付ける

ドリッパー、ドリッパーふたの取り付けの際は、ドリッパーの持ち手とバスケットの凹部を合わせ、ドリッパーふたをのせて取り付けてください。



- 3 給水タンクの4杯の目盛りまで水を入れて、本体に取り付ける



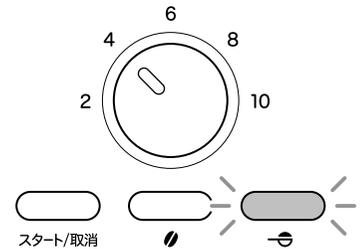
| お使いになる前の準備

- ④ コーヒーサーバーを保温プレートにセットする



- ⑤ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる
LEDランプとすべての操作ボタンが点灯した後消灯し、豆(豆)ボタンが点灯します。

- ⑥ 粉(粉)ボタンを押し、カップ数ダイヤルを4杯に設定する
粉(粉)ボタンが点灯します。



- ⑦ 「スタート/取消」ボタンを押す
抽出が始まるとブザー音が鳴って、「スタート/取消」ボタンとLEDランプが点灯します。
抽出が終わるとブザー音が鳴って、粉(粉)ボタンが消灯します。

- ⑧ 抽出が終了したら、「スタート/取消」ボタンを押して、保温を中止する

- ⑨ 本体が冷めるまで待ってから、コーヒーサーバーのお湯を捨てて水ですすぐ

- ⑩ 手順③から手順⑨を、1～2回繰り返す

コーヒーをいれる

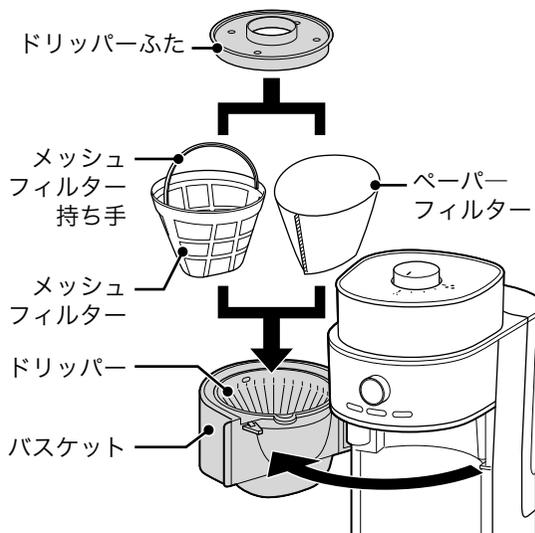
準備する

1

メッシュフィルターまたは
ペーパーフィルターを取り
付ける

① バasketを開ける

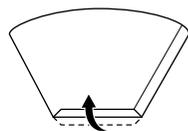
② メッシュフィルターまた
はペーパーフィルターを
ドリッパーに取り付ける



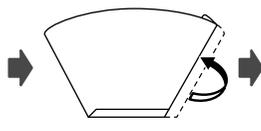
ご注意

- メッシュフィルターまたはペーパーフィルターを必ず取り付けてください。
取り付けないとコーヒーを抽出することができません。

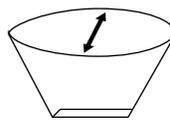
ペーパーフィルターの折りかた



底のシール部分
を折り曲げる



側面のシール部分を
底と逆側に折り曲げる



内側を広げる

4～7杯用のサイズのペーパーフィルターを使用できます。

4～7杯用サイズ：
(1×4)または(103)

2

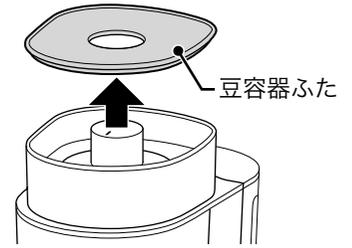
コーヒー豆またはコーヒー粉を入れる

コーヒー豆の場合

① ドリッパーふたを取り付けて、Basketを閉める

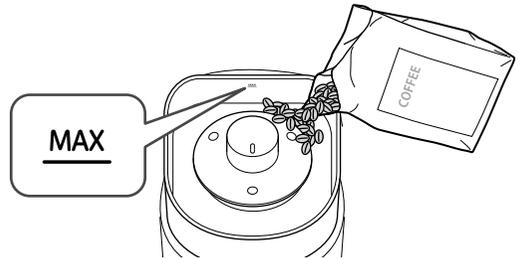
| コーヒーをいれる

2 豆容器ふたを取り外す



3 豆容器にコーヒー豆を入れる

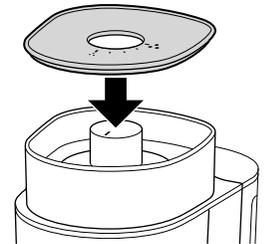
コーヒー豆はコーヒーをいれるたびに量って入れる必要がなく、一度に約200gまで入れられる豆容器から、カップ数に応じて自動計量します。



ご注意

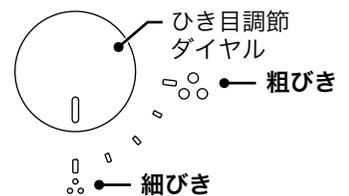
- コーヒー豆を容器のMAXの線以上入れないでください。
豆が詰まって故障の原因になります。

4 豆容器ふたを取り付ける



5 ひき目調節ダイヤルを回して、粒の粗さを設定する

粗びき ← 中びき → 細びき
あっさりした味わい ← → 苦味やコクが強調された味わい



ご注意

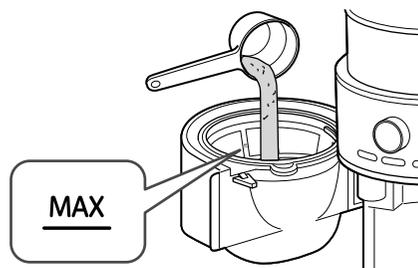
- 豆容器ふたの内側・豆容器がぬれている場合は、水気を充分にふき取ってください。
コーヒー豆が付着して豆容器に残る原因になります。
- 湿ったコーヒー豆を入れしないでください。
- 作るカップ数によっては、容器内にコーヒー豆が残る場合があります。

| コーヒーをいれる

コーヒー粉の場合

- 1 取り付けたメッシュフィルターまたはペーパーフィルターに、コーヒー粉を入れる

付属の計量スプーンは、すりきり1杯が約6g、内側の線までが約3gです。



ご注意

- メッシュフィルターの場合、コーヒー粉をMAXの線以上入れないでください。バスケットからコーヒーがあふれることがあります。

コーヒー粉量の目安	
カップ数	コーヒー粉の量
2杯	約 18 g (付属スプーン3杯)
4杯	約 30 g (付属スプーン5杯)
6杯	約 39 g (付属スプーン6+1/2杯)
8杯	約 48 g (付属スプーン8杯)
10杯	約 54 g (付属スプーン9杯)

- 2 ドリッパーふたを取り付けて、バスケットを閉める

3

コーヒーマシンを保温プレートにセットする

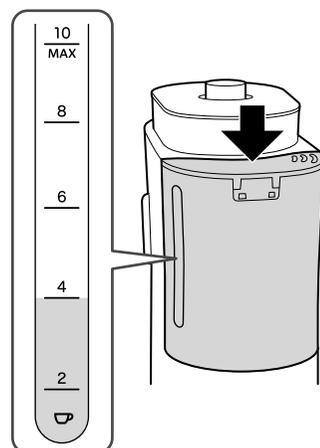


4

給水タンクに水を入れ、本体に取り付ける

カップ数に応じた目盛りの位置まで、水を入れます。

- 目盛りは目安です。本製品はカップ数に応じた水量を自動計算します。
- 給水タンクを本体に取り付けた後は、本体内部に水が流れ込み、目盛りより水位が下がることがあります。



ご注意

- 給水タンクにお湯を入れないでください。
- 給水タンクを本体に取り付けた状態で水を入れないでください。また、給水タンクを取り外す場合、給水タンク内の水がこぼれないように注意して取り外してください。水が本体内部に入り、故障の原因になります。
- 満水の目盛り(MAX10)以上の水は入れないでください。ふきこぼれの原因になります。
- 最低の目盛り(2)より多くの水を入れてください。空だきすると、故障の原因になります。

コーヒーをいれる

1

電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

LEDランプとすべての操作ボタンが点灯した後消灯し、●(豆)ボタンが点灯します。

2

●(豆)ボタンまたは☹(粉)ボタンを押す

選んだボタンが点灯していることを確認してください。

- コーヒー豆からいれる場合は●(豆)ボタン、コーヒー粉からいれる場合は☹(粉)ボタンを押してください。

3

カップ数ダイヤルを回して、カップ数を設定する

- コーヒー豆からいれる場合は、ひき目調節ダイヤルを回してひき目も設定してください。

4

「スタート/取消」ボタンを押す

- ブザー音が鳴って、抽出が始まります。動作中は「スタート/取消」ボタンとLEDランプ、●(豆)ボタンまたは☹(粉)ボタンが点灯します。
- 抽出の途中でお湯の注入が一時的に停止し、約30秒間の蒸らしの工程が入ります。
- 抽出を中止したいとき(設定を間違えた場合など)は、再度「スタート/取消」ボタンを押します。
- 抽出が終了すると、ブザー音が鳴って●(豆)ボタンまたは☹(粉)ボタンが消灯します。
- 抽出後60分間は自動で保温されます。保温を中止するには「スタート/取消」ボタンを押します。

ご注意

- 抽出中は絶対にバスケットを開けたり、バスケットから出る蒸気に触れたりしないでください。お湯や高温の蒸気が出てくるため、やけど・けがの原因になります。
- メッシュフィルターは豆の種類によって網目が詰まり、抽出時にバスケットからあふれる場合があります。その場合はカップ数を減らす、またはコーヒー粉を粗くする調整をしてください。

| コーヒーをいれる

コーヒーを注ぐ

コーヒーサーバーからコーヒーを注ぐ

- あらかじめカップを熱湯などで温めておくと、よりおいしくお召し上がりいただけます。

ご注意

- 抽出直後のコーヒーサーバーは高温になっています。
コーヒーサーバーを持つときは必ず取っ手を持ち、ガラス部分に触らないように注意してください。
- コーヒーサーバーの蒸気口からは高温の蒸気が出ます。やけどに注意してください。
- 2回連続して使用したあとは、「スタート/取消」ボタンを押して保温を中止して、30分間休ませてから使用してください。過度の連続使用は故障の原因になります。

—— コーヒーの保温について ——

- 抽出後約60分間は自動的に保温されます。保温のみを行う機能はありません。
- 長時間保温すると香りがぬけて風味が悪くなりますので、早めにお召し上がりください。

| 使い終わったら

ご注意

- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてから、片づけやお手入れをしてください。

1

電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めるまで待つ

2

抽出済みのコーヒー豆・コーヒー粉を捨てる

- ① バasketを開けて、ドリッパーふたを取り外す
- ② メッシュフィルターまたはペーパーフィルターを取り出す

ご注意

- 抽出済みのコーヒー豆・コーヒー粉はBasket内に放置せず、早めにお手入れしてください。
そのまま放置すると、カビや雑菌が発生する原因になります。

3

取り外した部品や、本体のお手入れをする

- 水洗いできる部品は、本製品をお使いになるたびに必ず洗ってください。
→ 「お手入れ」 **18ページ**

| コーヒーの基礎知識

理想の一杯を見つけるために、コーヒーの基礎知識を少しだけ紹介します。

POINT1 コーヒー豆の購入と保存

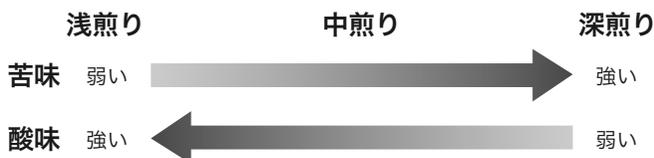
新鮮なコーヒー豆を、なるべく1週間で飲みきる量だけ購入しましょう。開封後は、密閉して冷暗所で保管しましょう。

本製品では…

本体上部の豆容器に、約200gまでのコーヒー豆を保管できます。

POINT2 焙煎度について

コーヒーの風味は、焙煎の違いで大きく変化します。一般的に、浅煎りは酸味が強く、苦みは少なめ。深煎りになるにつれて、酸味が少なく苦みが強調されていきます。



POINT3 豆をひく

コーヒー豆はひいて粉になると、30分程度で味が劣化してしまいます。おいしいコーヒーを飲むためには、入れる直前にひくことが大切です。

また、コーヒー豆をひく際は、ひいた粒の大きさが均一になることも重要です。粒の大きさが揃っていないと、抽出にムラが出てしまいます。手回しタイプのコーヒーミルを使う場合は、なるべく同じ速度で回しましょう。

本製品では…

豆を均一にひけるコーン式ミルによって、コーヒーを入れる直前に豆をひきます。

そのため、ひきたての香りと新鮮でおいしいコーヒーが楽しめます。

POINT4 粒度による味の変化

ひいたコーヒー豆の粒の大きさがちがいで、味わいは変化します。細びきになるほど、粒の表面積が広くなり、お湯と接触する面積が多くなるので、コーヒーの成分が多く抽出される傾向にあります。



本製品では…

本体上部のひき目調節ダイヤルで、細びき～粗びきまで、無段階に調節できます。

お好みで粒度を調節して、味わいの変化をお楽しみください。

POINT5 フィルターの種類

ドリップコーヒーを入れるための、代表的な3種類のフィルターをご紹介します。

- ペーパーフィルター：ペーパーが油脂分やアクを吸着するため、クリアな味わいになります。コーヒーを入れた後はフィルターごと捨てるだけなので、後片付けも簡単です。
- メッシュフィルター：コーヒーオイルまで抽出できることが特徴です。豆の個性をダイレクトに味わいたいときは、ぜひメッシュフィルターで入れてみましょう。繰り返し使えることもメリットです。
- 布フィルター：布フィルターを通すことで生まれる、まろやかさや口あたりの良さが特徴です。水洗いをして繰り返し使えますが、お手入れや保存に手間がかかります。

POINT6 蒸らし時間

コーヒーのおいしい成分を十分に引き出すためには、蒸らし時間をしっかりとることが大切です。抽出前に少量のお湯でコーヒーを湿らして、じっくり蒸らします。するとコーヒーに含まれるガスが放出され、コーヒーが膨らみます。この工程でコーヒーとお湯がなじみ、コーヒーの成分が出やすくなります。同じ豆でも、蒸らし時間で味わいの変化します。蒸らし時間を短くすると比較的あっさりした味わいに、長くすると濃くしっかりした味わいになります。



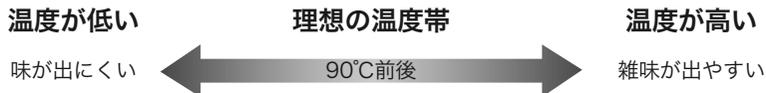
本製品では…

抽出の途中、約30秒間の蒸らしの工程が入ります。

POINT7 適切な温度で入れること

諸説ありますが、コーヒーを入れるのに理想の温度は90°C前後です。温度が低いと味が出にくく、高すぎると旨み以外の雑味も出てしまいます。

ハンドドリップの場合は、沸騰したお湯をケトルに移し替えた温度が、ちょうど良いとされています。



POINT8 出来上がったコーヒーは、なるべく早く楽しんで

コーヒーの飲み頃の温度は68～70°Cといわれています。60°Cより冷めてしまうと美味しさを感じにくくなるので、コーヒーを入れたら温かいうちに飲みましょう。あらかじめカップを熱湯などで温めておくと、よりおいしくお召し上がりいただけます。

コーヒーの好みは千差万別。味を変化させるコツをつかんで、自分の理想の一杯を見つけてください。

お手入れ

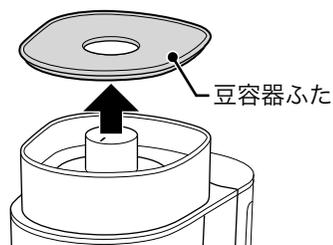
ご注意

- お手入れや部品の取り付け・取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めた後に行ってください。
高温部に触れると、感電・やけど・けがの原因になります。
- 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。
表面を傷つける原因になります。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンは使わないでください。
表面を傷つける原因になります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。
- お手入れした各部品は、十分に乾いてから本体にセットしてください。
水気が残ったまま保管すると、カビや雑菌が繁殖する原因になります。

豆容器ふた

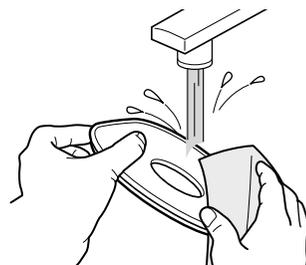
1

豆容器ふたを持ち上げる



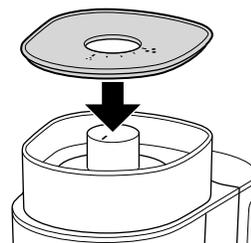
2

台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぐ



3

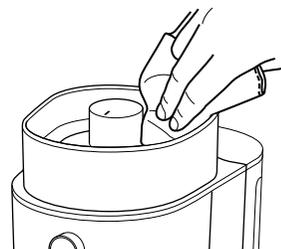
豆容器ふたを図の向きではめこむ



豆容器内部

ご注意

- 豆容器内部は、水洗いできません。
乾いた柔らかい布で拭いてください。



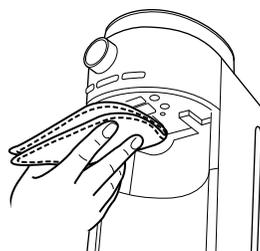
本体外部・保温プレート・操作部下側

ご注意

- 本体外部・保温プレート・操作部下側は、水洗いできません。
- 直接水をかけたり、丸洗いしたりしないでください。

汚れ、飛び散った粉を、乾いた柔らかい布で拭いてください。

汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに、台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



本体内部のクエン酸洗浄

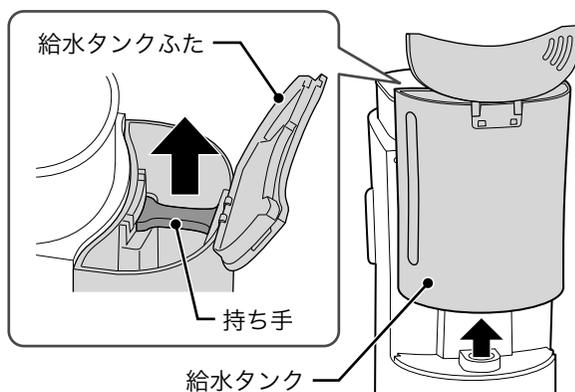
ご使用いただいているうちに、水に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)が本体内部に付着します。これは水アカといわれるもので衛生上問題はありませんが、お湯の出が悪くなったり、コーヒーをいれるのに時間がかかるようになったら、クエン酸洗浄を行って汚れを取り除いてください。

おしらせ ● ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水を使用している場合は、ミネラル成分が付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

- ① コーヒーサーバーを保温プレートにセットする
- ② 給水タンクの4杯の目盛りまで水を入れ、クエン酸(約10 g)を加えて溶かす
- ③ 給水タンク、ドリッパー、ドリッパーふたを本体に取り付ける
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる
- ⑤ 一☉(粉)ボタンを押して、カップ数ダイヤルを回して「4杯」を選ぶ
- ⑥ 「スタート/取消」ボタンを押す
抽出が終了したら、お湯を捨てて、コーヒーサーバーをよくすすぎます。
- ⑦ クエン酸のにおいを取るため、水だけで抽出を2～3回くり返す

給水タンク

- 1** 給水タンクふたを開け、
持ち手をつかんで持ち
上げる

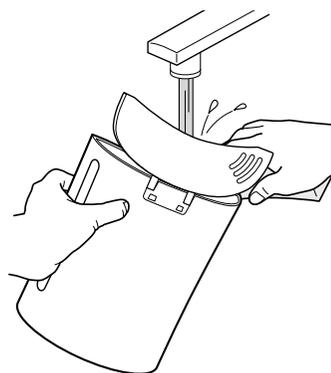


- 2** 台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぐ

給水タンク内部の汚れが気になるとき

給水タンクの満水の日盛りまで40°C以下のお湯を入れ、クエン酸(約20g)を入れて溶かし、約12時間放置してください。

その後、よく洗い流してください。



- 3** 本体に沿って、給水タンク
を差し込む

給水タンク裏側の凸部を本体の差し込み穴に差し込んで取り付けます。

- 給水タンクと本体との間にすき間
がなくなるまで、しっかりと押し
込んでください。



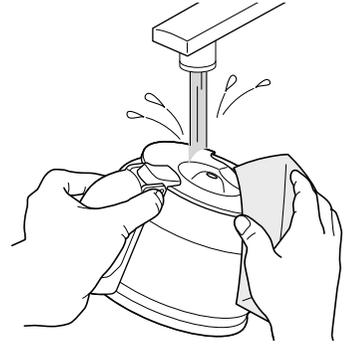
| お手入れ

コーヒーサーバー

ご注意

- コーヒーサーバーは水に浸さないでください。

台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぐ



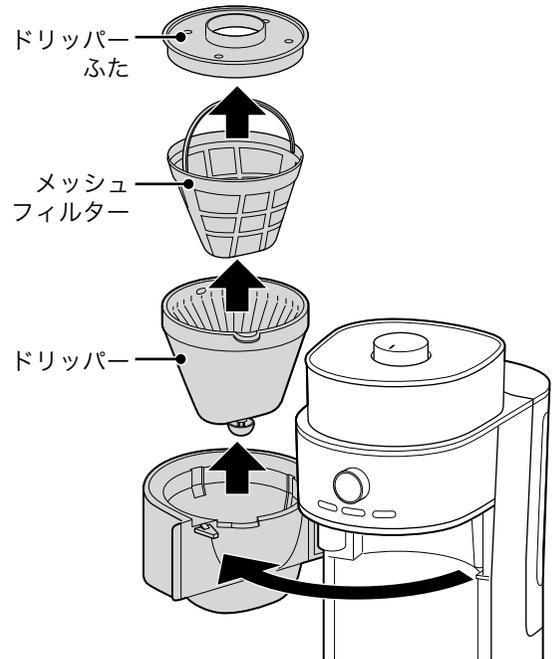
ドリッパーふた・メッシュフィルター・ドリッパー

ご注意

- 抽出中は絶対にバスケットを開けないでください。
やけど・けがの原因になります。

1

バスケットを開けて、
ドリッパーふた、メッシュ
フィルター、ドリッパーを
持ち上げて取り出す

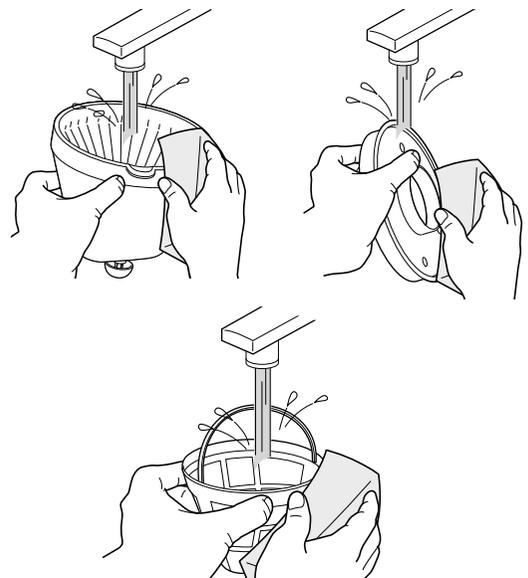


2

台所用中性洗剤で洗い、
水でよくすすぐ

ご注意

- メッシュフィルターは、
やさしく洗ってください。
強い力で洗うと、破損の原因になります。

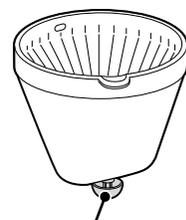


しずくもれ防止弁のお手入れ

しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずにコーヒーがもれることがあります。本製品を使用するたびに、しずくもれ防止弁を必ず洗ってください。

ドリッパーに水をためてから、しずくもれ防止弁を2～3回押し上げて、汚れを洗い流します。

しずくもれ防止弁を強く引っ張ると、外れることがあるのでご注意ください。



しずくもれ防止弁

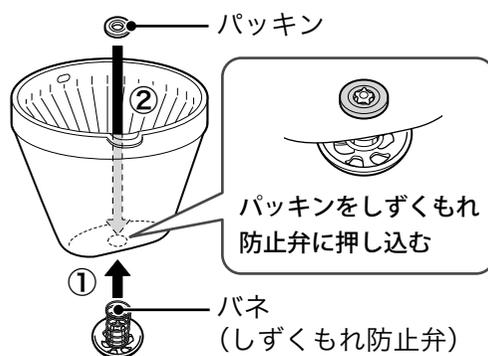
しずくもれ防止弁が外れたときは

以下の手順で取り付けてください。

- 1 しずくもれ防止弁にバネをつけた状態で、ドリッパーの底面から差し込む

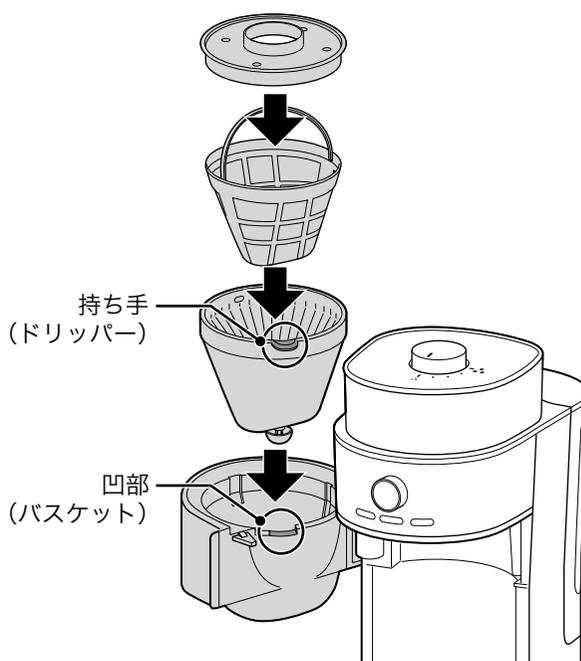
- 2 パッキンをしずくもれ防止弁に押し込む

パッキンが手で取り付けにくい場合は、先の長いもの(口の広いストローなど)を使ってください。



3

ドリッパーの持ち手とバスケットの凹部を合わせ、ドリッパーふたをのせて取り付ける



故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 「スタート/取消」ボタンを押しても動作しない。

- A (豆)ボタンまたは(粉)ボタンが点灯していますか。 > (豆)ボタンまたは(粉)ボタンを押してください。

Q2 運転が途中で止まった。

- A 抽出完了後、連続して運転していませんか。 > 2回連続して使用したあとは、保温を中止して、30分間休ませてから使用してください。

Q3 コーヒーが抽出されない。

- A1 給水タンクに水が入っていますか。 > 給水タンクに、作るコーヒーのカップ数に応じた分量の水を入れてください。

- A2 給水タンクが正しく取り付けられていますか。 > 給水タンクを正しく取り付けてください。

Q4 バスケットからコーヒーがあふれる。

- A1 フィルターが取り付けられていますか。 > フィルターを正しく取り付けてください。

- A2 コーヒー粉をメッシュフィルターのMAXの線以上入れていませんか。 > カップ数に応じたコーヒー粉を入れてください。

- A3 しずくもれ防止弁にコーヒーの粉が詰まっていますか。 > しずくもれ防止弁はご使用ごとにお手入れしてください。

- A4 コーヒーサーバーが正しくセットされていますか。 > コーヒーサーバーを正しくセットしてください。

- A5 メッシュフィルターがコーヒー粉で目詰まりしていませんか。 > メッシュフィルターはご使用ごとにお手入れしてください。

Q5 コーヒーがすべて落ちきらず、バスケットに残る。

A1 メッシュフィルターがコーヒー粉で目詰まりしていませんか。 > メッシュフィルターはご使用ごとにお手入れしてください。

A2 コーヒー豆の種類や使用量によっては、抽出終了後もバスケットの中にコーヒーが残る場合があります。その場合は、抽出が止まるまでお待ちください。

Q6 ひいたコーヒー粉がバスケットにたまらない。

A ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。 > 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q7 コーヒー豆がひけない。

A ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。 > 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q8 ミルがすぐに停止する。

A ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。 > 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q9 コーヒーの味が異常に薄い/濃い。

A1 コーヒー粉、水の量は合っていますか。 > カップ数に応じたコーヒー粉と水の量を入れてください。

A2 コーヒー豆の量は合っていますか。 > 豆容器にコーヒー豆を追加してください。

Q10 お湯の出が悪い/抽出に時間がかかる。

A 本体内部に水アカなどが付着して汚れていませんか。 > 水アカなどの汚れがひどくなると、お湯の出が悪くなります。クエン酸洗浄を行ってください。
➡「本体内部のクエン酸洗浄」 **20ページ**

| 故障かなと思ったら

Q11 コーヒーをいれるとプラスチック臭がする。

使いはじめのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。

A お使いになるうちに少なくなります。気になる場合は1～2回水だけで抽出してからお使いください。それでも気になる場合は、クエン酸洗浄を行ってください。

➡「本体内部のクエン酸洗浄」 **20ページ**

Q12 しずくもれ防止弁が外れた。

必要な部品(パッキン、バネ)が不足していないことを確認して、を参照し、取り付けてください。

A 部品を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはシロカサポートストアでドリッパーをお買い求めください。

➡「しずくもれ防止弁が外れたときは」 **24ページ**

Q13 電源コード・電源プラグに損傷が見られる。

A 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q14 本体の部品や、コーヒーマシンなどを破損してしまった。

A お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

| 仕様

品名(型番)	コーン式全自動コーヒーメーカー (SC-10C151)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
消費電力	1000 W
質量(約)	4.2 kg (付属品を除く)
外形寸法(約)	幅 19 cm × 奥行 29.6 cm × 高さ 45 cm
抽出方式	ドリップ方式
最大使用水量	1360 ml
電源コードの長さ(約)	1.2 m
付属品	メッシュフィルター、計量スプーン、ペーパーフィルター (5枚)
原産国	中国

重要

- この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

長年ご使用の製品の点検を!

- 定期的に「安全上のご注意」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

| 部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店、または、シロカサポートストアでお買い求めください。

プラスチック部品やパッキン類はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。

部品名	部品コード	部品名	部品コード
コーヒーサーバー (ガラス容器)	SC-10C151GP	ドリッパー	SC-10C151DR
給水タンク(取り外し式)	SC-10C151KT	ドリッパーふた	SC-10C151LD
豆容器ふた	SC-10C151LB	計量スプーン	SC-C111KS
		メッシュフィルター	SC-10C151MF

| アフターサービス

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターまでご相談ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターまでご相談ください。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。

その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といえます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

ご相談・ご依頼

修理、使いかた、お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記へご連絡ください。

シロカサポートセンター

▶ 電話 ナビダイヤル  **0570-001-469**

※上記番号がご利用いただけない場合 **03-3234-8800**

▶ 受付時間 **10:00 ~ 17:00** (弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください)

おねがい

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。

▶ ホームページ <https://siroca.co.jp/> ※「お客様サポート」のページからお入りください。

消耗部品・別売品のご注文

消耗部品・別売品は、販売店のほかに、シロカサポートストアからもご注文いただけます。

シロカサポートストア

<https://siroca.jp/>

※ 製品により、お取り扱いがない部品がございます。
シロカサポートセンターまでお問い合わせください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

保証書

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、もしくはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

型番 ：SC-10C151	ご購入日 ： 年 月 日
保証期間 ：お買い上げ日より本体 1 年間	シリアル NO. ：
お客様 ： ふりがな	販売店 ：店名・住所・電話
お名前	
ご住所	
お電話	※購入日を証明するレシートまたは送り状などを必ず添付してください。 証明がない場合、保証対象にならない場合があります。
シロカサポートセンター 電話：ナビダイヤル  0570-001-469 ※上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800 受付時間：10：00～17：00 (弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください) ホームページ https://siroca.co.jp/	シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F
<p>この保証書は、本書記載内容で無償修理をおこなうことをお約束するものです。 お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき当社が無償修理いたしますので、商品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、もしくはサポートセンターまでご依頼ください。</p> <p>1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。(2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、塩害、輸送などによる故障または損傷。(3) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。(4) 車両、船舶への搭載や、極端な高温、低温、多湿、埃の多い場所などで使用された場合の故障または損傷。(5) 本書のご提示がない場合。(6) 本機のご購入を証明するレシート等の証明書が無く、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名が確認できない場合あるいは字句を書き換えられた場合。(7) 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。(かすり傷、へこみなどを含みます)(8) 高温多湿の場所など保存上の不備、経年劣化、自然消耗による瑕疵の場合。(9) 腐食による故障、及び損傷(10) 故障の原因が本製品以外(電源など)にあって、それを点検、修理した場合。(11) フィルター、バッテリーなどの消耗品の場合。(12) 日本国外で使用された場合。 <p>2. お買い上げ店などへご持参いただく際の交通費、サポートセンターへご送付いただく際の送料、諸掛りはお客様のご負担となります。</p> <p>3. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。</p> <p>4. 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。</p> <p>5. 本書に基づく無償修理(製品交換を含みます)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。</p> <p>6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。</p> <p>7. 本製品のご使用や、本製品の故障に起因する付随的損害については、弊社では一切の責任を負いかねます。 ※本製品でのご使用により生じたその他の機器損害に対し、弊社は一切の責任を負いかねます。 ※本製品でのご使用、または使用不能から生じる付随的な損害に対し、弊社では一切の責任を負いかねます。</p> <p>8. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。</p> <p>9. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.</p> <p>この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。 従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。</p>	

シロカの最新情報はこちらでチェック！



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/



シロカ
サポートストア
siroca.jp